



# LIQUI MOLY

## リキモトレーディング

問：リキモトレーディング  
http://www.lm-trading.co.jp/ ☎03-3669-6006

### ドイツシェアナンバーワンを誇る信頼のエンジンオイル日本上陸

#### エンジン内部に作用する各種添加剤も豊富な取り揃え

エンジンオイルに気をを使うBMWオーナー向け、新たなエンジンオイルが発売された。「LIQUI MOLY」である。まだ聞き慣れないこのエンジンオイルだが、実はドイツ国内ではシェアナンバーワンを誇っている。その品質と性能の素晴らしさは、モータースポーツの分野で使われ、すでに実証済みだ。80年代にはポルシェ・マン956に供給、F1ではジョーダンに、また、2006年からはWTCCにLIQUI MOLYカラーのE46、E90の2台が参戦。エンジン保護性能の高さは折り紙付きなのだ。

もちろんそれは製品自体のクオリティへのこだわりの高さが生み出した結果で、良質なベースオイルとそれに配合する添加剤とにこだわり、最高グレードのエンジンオイルを製造、供給しているためだ。また、パッケージングはドイツ本国の製造工場でのみ行なわれるという徹底ぶり。ドラム缶輸送の後パール缶などに移し替えての販売が一般的なオイル業界にとっては、革新



的ともいえる販売スタイルを持っている。これはすべて品質の劣化、酸化を防ぐためのこだわりだ。徹底した品質管理がなされていればこそ、安心して使うことが出来るわけだ。

さて、今回は論より証拠ということで、サンライズブルバード池袋店さんにご協力をお願いして、E39 525iに入れて使ってみることにした。選んだのはSYNTHOIL LONGTIME 0W-30で、省燃費性に優れたタイプと伺っている。エンジン保護性能はもちろんだが、オイル交換時期の延長効果も高いと考えたためだ。同時にリキモトレーディングでは、同時に各種ケミカル類も導入、販売を行なうとのこと。その中にはエンジンフラッシング効果を持つMOTOR CLEANを使い、エンジン内部を洗浄、さらにエンジン内部の摩耗を減らしてくれる効果があるCERATECを注入ししばらく燃費などを計測して後に報告しようと考えているので乞うご期待。

当然だが、BMW Longlifeもクリア。認定を受けたオイルである。オイルのバリエーションは0W-30と10W-40の2種類。エコに配慮して低燃費を考えているなら0W-30がおススメだ。スポーツ走行を楽しみたいというユーザーなら硬めの10W-40をチョイスすれば良い。その時々に応じて入れ替えることで最高のパフォーマンスを発揮してくれることは間違いない。

#### 結果は次号で報告します



#### オイル交換の時期は？ そして燃費アップなるか!?

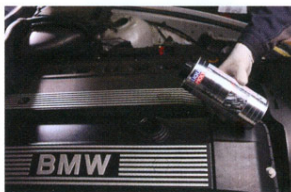
さて、BMWのエンジンオイルは、現在3万kmで交換時期を知らせてくれるように設定されているようだ。実際、このクルマは3万km交換していなかった。写真でご覧いただいたようにオイルは非常に汚れていたが、エンジンに不調はなかった。ちなみに現在リッター当たりの走行距離は8.1km。これが数ヶ月後には1kmでも伸びてくれると良いのだが。



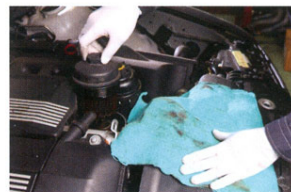
SYNTHOIL LONGTIME 0W-30で、省燃費性能に優れたエンジンオイル。



エンジン内部の摩耗を減らしてくれる効果があると想像以上でドロドロオイルが付着していた。



はじめに今入っているオイルにMOTOR CLEANを注入。5から10分ほどエンジンを回してオイルごと拭く。



当然だがオイルエレメントも新しいモノに交換する。想像以上にドロドロオイルが付着していた。



オイルをドレーンから抜き取る。排出されてくるオイルをみると真っ黒でドロドロ。



エレメントをボッシュの新品へと交換する。これだけでもオイルがきれいになったイメージだ。



そして、LIQUI MOLYのエンジンオイルを注ぎ入れる。燃費を考えて0W-30ロングライフをチョイスした。



エレメントをボッシュの新品へと交換する。これだけでもオイルがきれいになったイメージだ。



最後にエンジン内部の摩耗を減らしてくれる効果があるCERATECを注入。結果が楽しみです。